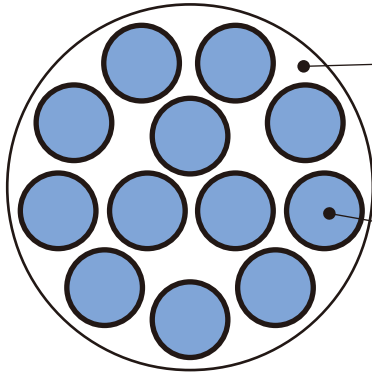


戦略A 集める - 誘引カ - [戦略別広報] 知ってもらう広報

戦略イメージ図



方策A-①
誰もが参加しやすい環境をつくる
外側の円：広く全体的に集める

方策A-②
明確なメッセージを伝える
内側の円：特定のターゲットを集める

方策A-① 誰もが参加しやすい環境をつくる

方策のキーワード

気軽に立ち寄れる交流の場

文化芸術への関心や住む場所に左右されない

人や事業（プロジェクト）を相互につなぐ

社会環境の変化を先取りして対応する

ヒト・モノ・カネ・コトをひき寄せる

活動計画

アピオス

リモートとリアルが共存する会議を標準にする

どこに住んでいても、どんな社会情勢になっても、会議に参加できることが当たり前になるよう、プロジェクトに参画する人を対象としてのリモート研修を年度初めに行います。

事例紹介

ホール展示企画 みの～れ「陽だまり横丁」「ときめき美の小径」／アピオス「陽だまり広場」「遊歩道」

「いつ来ても何かやっている、ぶらっと寄って楽しめる」をコンセプトに、ホワイエ展示スペースまたは館内通路を活用した展示を企画。実行委員会のもと、①いつ来ても何かやっているホールとなるよう日常的に展示を行う、②企画展やワークショップを開催し、にぎわいを作り出すことをミッションとして、半月～2か月の一定期間で展示を実施しています。みの～れ「陽だまり横丁」「ときめき美の小径」を起点とした文化ホールでの展示企画は、アピオスにも「陽だまり広場」「遊歩道」として根付き、さらにコスモスでも立ち上げを計画中。創る側も見る側も楽しめる、住民の文化活動の場となっています。



写真：みの～れ
「陽だまり横丁」企画展
(2020年8月)

活動計画

みの～れ

すべての人に開かれた憩いの場の創出

子ども・高齢者・障がい者などあらゆる人が、気軽にみの～れの中に足を運び、中を見て回ることでできる仕組みをつくり、「いつも何か楽しい催しが行われている」と思われる交流の場となる環境をつくりまします。

活動計画

コスモス

公民館・図書館・史料館とも連携した気軽に立ち寄れる環境の創出

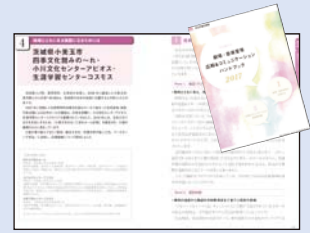
子どもから高齢者まで多様な世代の参加・参画や交流が期待できるコスモスの特性を生かして、公民館、図書館、史料館、文化ホールの事業や利用者を相互につなぐ運営を行います。

2. 戦略／方策／活動計画

事例紹介

「地域とともにある施設になるためには」小美玉文化の広報事例が紹介

おみた Magazine、Minole Lifeのすすめ、art minoleなど、住民参画による文化ホールでの広報活動が「平成 28 年度 劇場・音楽堂等広報&コミュニケーションハンドブック」(文化庁委託事業)において紹介されました。ハンドブックでは住民参画の広報体制のポイントとして、1. 職員の役割(職員が現場で育成されているからこそ、住民と一緒に汗をかくことができる)、2. 住民の活動(住民目線での広報が、住民を育て、ホールのファンを生む)、3. 若年層の取り込み(学校の職場体験を住民参画の機会として組み込む)の3つを掲げており、「住民自体が企画し、実施し、そして広報している活動であるからこそ、全くの無関心層を巻き込むだけの強い力をもつことができる」、「地域全体をホールの味方にできる好例」と評価を受けています。



平成 28 年度
劇場・音楽堂等
広報&コミュニケーション
ハンドブック
(編集・発行：(株)文化科学研究所)

方策A-② 明確なメッセージを伝える

方策のキーワード

地域に住むさまざまな人びとをターゲットにする

(住民個人、住民グループ、企業、学校、官公庁など)

時代・世代・対象に合わせた広報戦略を考える

住民主役・行政支援のホールの取り組みを PR

「小美玉市の目指す文化のサイクル」をみんなで意識する

知る、興味をもつ、参加する企画事業を展開する

活動計画

アピオス

①最新のデジタルツール（SNS・動画等）を先取りする

最先端のデジタルツールに挑戦し、広報の発信力とクオリティを高め、ITリテラシーの高い人が集まるアピオスというブランドを訴求します。

②専門的な広報戦略を学ぶ

専門的な広報戦略を学ぶ機会をつくり、各プロジェクトで取り組みます。

事例紹介

コスモス夏休み親子体験

コスモスでは夏休みに親子体験事業を実施しています。その1つが公民館事業として実施する「夏休み体験講座」。市内の小学生とその保護者を対象に、毎年さまざまなジャンルの講師を1日に集めて実施するもので、2021年は「和太鼓」「ヒップホップダンス」「まがたま作り」「マジック」の4講座が開催されました。子どもたちは講師の実演を見て、教わりながら実際に体験。初めて太鼓やダンスに触れる子どもも多く「わかりやすい」「楽しい」の声が多く寄せられました。もう1つが図書館事業として実施する「折り紙教室」。こちらは図書館職員を講師に、幼児も参加OK。親子で楽しめて、子どもたちが学び興味をもつ機会となっています。



写真：折り紙教室
(2021年7月)

活動計画

みのり〜れ

世代にマッチした多様な手法を用いた情報提供

SNS・紙などの媒体とターゲットを意識し、その時代に合った広報戦略を学ぶとともに、各層や世代にマッチした多様な手法を用いて広報を発信します。

活動計画

コスモス

地域の特性を生かした情報発信

市外・県外からのサイクリングロード利用者や、ダイヤモンド筑波見学者等の近隣に来た人をターゲットに、コスモスを知ってもらう機会をつくります。またコスモスの利用者や事業参加者に、情報発信をしてもらえるような仕掛けをつくります。